



Sathya Sai International Organisation

P.O. Box 660995, Arcadia, CA 91066-0995, USA

マハーシヴァラートリの意義 (ナレンドラナートレディ博士のビデオメッセージ2019)

愛と尊敬と感謝を込めて、私たちの最も親愛なる、最も甘美で、愛に満ちた主、バガヴァン・シュリ・サティヤ・サイババ様、主なるサイ・シヴァに、謹んでお祈りを捧げます。

親愛なる兄弟姉妹の皆様に
愛を込めてサイ・ラムと申し上げます。

皆様が、神の至福に満たされ、幸福で神聖で吉祥のマハーシヴァラートリ祭を迎えられますよう願っています。

それは靈性求道者すべてにとって大切なお祭りです。ましてやサイの帰依者にとっては、より重要です。なぜなら、何十年にもわたって、マハーシヴァラートリ期間中には、主なるサイ・シヴァと共に過ごし、喜びと祝意をもってこの祭を祝うために、何百万人ももの靈性求道者たちが、プラシャーンティ・ニラヤムに集結したからです。サイはシヴァ御自身です。私たちはなんと幸運で恵まれていたことでしょうか。なぜなら1963年7月6日に、スワミ御自身が無限の慈悲と愛をもって、ご自身がシヴァでありシャクティであることを宣言なさったからです。そしてまた、サイはこのことを正式に発表されました。私たちは御講話でそれを参照することができます。1958年11月に、スワミは絶命した少女を蘇生し、生き返らせました。そしてご自身がジョーディ・アーディパッリ・ソーマッパヤ（シヴァの大威力を具有し給う神）であると宣言されました。この特別な御名は、スワミの108の御名の中にあります。「ジョーディ・アーディパッリ・ソーマッパヤ・ナマハ」——それは、サイは再びやって来た不変のシヴァであり、シャクティであるという意味です。サイがシヴァとシャクティの化身であることを主御自身から聞くことができるのは、素晴らしいことです。

プラシャーンティ・ニラヤムが完成して間もない頃、シェーシャギリ・ラーオという僧侶がいました。彼は首の周りに大蛇を巻き付けたシヴァとしてのスワミを目撃し、恐れおののいて、3日間至福に満たされました。そして皆さんの多くが知っている世界にサイ・ガーヤトリーのメッセージを伝えたガンディコータ スップラマンニャ シャーストリ氏が、スワミに「あなたは何者なのですか？」と尋ねたとき、スワミは一枚の美しい写真を物質化されました。その写真はサイとシヴァが一つであることを示しています。

もう一つ、2005年に起こった美しい出来事について触れておきたいと思います。私たちは国際医学学会を開催し、世界のさまざまな場所からおおよそ千人の参加者がプラシャーンティ・ニラヤムにやって来ました。学会の審議が行われた後、何人かの医師がスピーチをしました。1人は神経外科医であるヴェンカタ・サダナンド博士で、スワミに祈った体験談を語りました。「私は、私自身も含めて、私が持っているものすべてを捧げます。私はあなたの神聖な蓮華の御足に祈ります。どうぞあなたの本当の姿を明らかにしてください。」無限の愛と慈悲をもって、スワミは博士に「私はシヴァである」と告げられました。そして美しいリングムと金のネックレスを物質化され、「これは私自身です。シヴァとリングムは同じです。そこには何の違いもありません。」とおっしゃったのです。スワミはシヴァ神に関連した多くのことをなさってきました。アシュラムにいるとき、アシュラムを去るときにはいつでも、スワミは私たちに物質化したヴィブーティと小袋入りのヴィブーティをくださいました。そしてまたシルディ・サイの像に何度もヴィブーティ・アビシェーカム（灌頂）をなさいました。



Sathya Sai International Organisation

P.O. Box 660995, Arcadia, CA 91066-0995, USA

スワミが手を回してリングムを物質化されたことが何回もありました。また、口からリングムを出されたこともありました。このことは、私たちのサイであるシヴァ神に私たちがどれほど祝福され、幸運であるかを証明しています。今回、私たちのサイ・シヴァであるシヴァ神が、マハーシヴァラートリ祭についてどのように語ったかを思い出すことも、私たちにとって非常に重要です。霊的求道者にとっては、毎月シヴァラートリがあることを私たちは知るべきです。暗い2週間（クリシュナパクシャ）の14日目はチャトゥルダシーと呼ばれます。クリシュナパクシャとは、満月から新月へと月が欠けていく時期のことです。その14日目は、ほんのわずかな月の光しか見えません。その翌日には月は完全に見えなくなります。これがマハーシヴァラートリです。その重要なメッセージは、「チャンドラマー・マナソー・ジャータハ」（月は心から生じた）です。「月は心を通べる神である」と聖典は述べています。「マナ・エーヴァ・マヌッシャーナム・カーラナム・バンダ・モークシャヨー」心（マインド）は人を束縛する原因であり、解脱させる原因でもある、と、スワミはおっしゃいました。心（マインド）を神に向ければ、あなたは自由になり、解脱します。しかし心（マインド）を世俗に向ければ、あなたは束縛されます。そのためこの夜は非常に重要なのです。もし心（マインド）のすべての痕跡を消し去ることができれば、それはマノーラヤ（心を神に溶け込ませること）と呼ばれます。もしあなたが心（マインド）を完全に神に向けるのであれば、心（マインド）は消滅するでしょう。シヴァラートリの「シ」「ヴァ」「ラ」は数秘的には11を示していると、スワミはおっしゃいました。なぜそれが重要なのでしょうか？なぜならルッドラ（ナマカム11回とチャマカム1回を唱えること）は11であるからです。

スワミはこのようにおっしゃっています。11のルッドラは、5つのカルメンドリヤ、すなわち5つの行動器官と、5つのグニャーネンドリヤ、すなわち5つの知覚器官、そして心（マインド）に相当する。これらの11のものを、神のために善行を為すために使うならば神の中に溶け込み、至福と歓喜の涙を流すことになるだろう。同じ11のルッドラ（5つの知覚器官と5つの行動器官と心）を官能的喜びに関わらせ、世俗に向けさせるならば、後悔と悲嘆の涙を流すことになるだろう。どちらを選ぶかは、私たち次第です。だからこそ、神に夢中になり、神のことを考え、神の栄光を歌うマハーシヴァラートリが大切なのです。

マハーシヴァラートリと共に行われるのは特に意義深いイベントです。一つはリングードバヴァム（リングムの出現）です。スワミはよくリングムを出されました。リングムの意義は何でしょうか？スワミは、リングムは「リーヤテー・ガムヤテー・イティ・リング」すなわち「世界のすべてのものが溶け込み、一つとなるもの」という意味であるとおっしゃいます。神は美しい御名と美しい御姿と美しい属性を持っています。神はサグナ（属性があるもの）であり、サカラ（完全なもの）です。同時に神はニルグナ・ニラーカーラ（属性も名も姿もないもの）でもあります。そのため主は、ニルグナ・ニラーカーラ・ブラフマン（属性がなく姿がないブラフマン）を言葉で象徴したものがオームカーラであり、ニルグナ・ニラーカーラ・ブラフマン（属性がなく姿を持たないブラフマン）の目に見える姿がリングムであることを示されました。それがリングムの意義です。スワミはリングムを物質化され、多くの場合は口から出されました。

シヴァの第2の側面はヴィブーティ（神聖灰）です。シヴァ神が体中に塗り付けているのがバスマ（灰）です。私が申し上げたとおり、スワミは私たちに何度もヴィブーティを与えてくださいました。このヴィブーティの意義は何でしょうか？ヴィブーティは神の栄光を意味しています。世界にあるすべてのものは束の間のものであり、最終的には一つのものになります。それが灰です。しかし灰は、それ以上汚されたり退化したりすることがありません。葉や水や花は変わ



Sathya Sai International Organisation

P.O. Box 660995, Arcadia, CA 91066-0995, USA

るかもしれませんが、灰は変わりません。それがヴィブーティの意義です。ひとたびスワミの神聖なヴィブーティを受け取ったなら、私たちの身体的病は癒され、精神的悩みは軽減され、繁栄と人生の最終目標である解脱も得ます。

この神聖なシヴァラトリの第3の側面は、この期間中に人々が断食と徹夜をすることです。その目的は何でしょうか？神に夢中になり、神の栄光を歌い、神のことを考え、神の物語を思い起こすならば、食べることも寝ることも忘れてしまうとスワミはおっしゃっています。何も食べず、眠らずにいても、神を忘れていてはなりません。食べ物のことも寝ることも忘れてしまうほど、私たちが神に夢中になるということが、その目的なのです。しかし人々は異なる方法を実践しています。私の個人的な逸話をご紹介します。12年ほど前のシヴァラトリ前日のことです。スワミが私におっしゃいました。「明日、シヴァラトリの日にヤジュル・マンディール（スワミの家）にいらっしやい。一緒に昼食を食べましょう。」私の友人や家族を含め、すべての人が笑いました。「なぜスワミが、よりによってシヴァラトリの日にあなたと食事するとおっしゃるんだい？」私は「神様がそうおっしゃったのだから」と言いました。そして驚くなかれ、翌日、スワミは私たちをお呼びになり、私たちはスワミと一緒に昼食を取ったのです！そのメッセージはこうです。スワミは儀式ではなく、霊性に関心をお持ちなのです。断食や徹夜やバジャンを歌うことのそもそもの目的は、神と共にいることです。神と共に昼食を取ることができるのなら、それ以上に素晴らしいことがあるのでしょうか？ですから、私たちは常に、儀式の中にある霊的意義を思い起こす必要があります。

もう1つは、ビルヴァの葉についてです。リングムに礼拝するために、私たちは2つのものを使います。1つは水、はちみつ、牛乳などをかけるアビシェーカム（灌頂）です。それから、シヴァ神と非常に近いと言われているビルヴァの葉を捧げます。ビルヴァの葉はユニークで、三つ葉になっています。3枚の葉が象徴しているのは、3つのグナ（属性）、すなわちサットヴァ（浄性）、ラジャス（激性）、タマス（鈍性）であり、3つの時間、すなわち過去、現在、未来であり、3つの世界、すなわちブール（物質界）、ブヴァッ（アストラル界）、スヴァハ（天界）であり、3つの状態、すなわち目が覚めている状態、夢見状態、熟睡状態であり、これらの境地すべてがビルヴァの葉で表されています。ですからビルヴァの葉を捧げれば、あなたは3つの境地を超越することになるのです。私たちがシヴァ神と共にいれば、3つの属性すべてを超越し、3つの時を超越し、三界を超越し、3つの体を超越し、神と一体になるのです。それが、ビルヴァの葉を使った礼拝の意味です。しかしスワミはこうおっしゃいました。「もしビルヴァの葉が手に入らなくて、アビシェーカムができなくても、心配しなくてよろしい。善行で聖別されたあなたの体そのものを捧げなさい。それがビルヴァの葉なのです。」次はアビシェーカム（灌頂）です。「歓喜と至福の涙を流す以外には何も必要ありません。それ自身がアビシェーカムなのです。」それが、スワミが教えてくださった内的意義です。

それでは、マハーシヴァラトリに関するスワミの御言葉で、このビデオメッセージを締めくくりたいと思います。

一つ目のメッセージはこれです。「シヴァ神は犠牲と奉仕の化身です。それが私たちが学ぶべきことです。スワミは、人類を救うために、全世界を滅ぼす猛毒ハラハラを飲んだシヴァ神と同じです。次にシヴァは何をしたのでしょうか？彼はその毒を引き受けただけでなく、月光をもたらす月を私たちに与えました。そして、頭上からガンジス河の水をもたらしました。ですから、人類にとって否定的なものを引き受けて、美しく肯定的な物事すべてを人類に与えることによってシ



Sathya Sai International Organisation

P.O. Box 660995, Arcadia, CA 91066-0995, USA

ヴァ神は犠牲を払っているのです。それが私たちがシヴァ神から学ぶべき教訓の一つです。」

第2の教訓は、簡素さです。「シヴァ神はトラの毛皮をまとい、全身に灰を塗り、飾りとして大蛇を身に着けています。それは霊性求道者のお手本です。簡素 (simplicity)、犠牲(sacrifice)、奉仕 (service) です。」スワミがおっしゃった2つ目のメッセージはシヴァ神の家族についてのもので、す。「シヴァ一家はアーディトウクンバム (第1の家族) と呼ばれています。なぜでしょうか？シヴァ一家のメンバーは、シヴァ神、その妻であるパールヴァティ女神、2人の息子であるガネーシャ神とスップラマニヤム神です。それぞれが、たくさんの霊性求道者たちによって選ばれし神として礼拝されています。この家族の素晴らしいところは、一体性と調和、多様性の中の一体性です。シヴァ神の乗り物は何ですか？それは雄牛のナンディです。母であるパールヴァティ女神の乗り物は何ですか？ライオンです。ガネーシャの乗り物は何ですか？ネズミです。スップラマニヤム神の乗り物は何ですか？クジャクです。そしてシヴァ神はヘビを身に着けています。雄牛、ライオン、ネズミ、クジャク——これらはすべて互いに敵対しています。ヘビはクジャクに怯えます。ネズミはヘビを恐れます。ですから全員が敵なのです。しかし彼ら全員が一体性と調和の中で生活しています。シヴァ神自身が調和と一体性の模範です。彼は額に炎である第三の目を持っていて、頭上にはガンジス川の水があります。水と火では上手くいきません。しかしシヴァ神は調和の中で生きています。多様性の中の一体性、家族の中の調和と一体性。それがメッセージです。」

最後に、すべての場所で、すべての中に、神を見出し、神を示すために、スワミがおっしゃったもうひとつの重要なメッセージをご紹介します。それはルッドラムのメッセージです。これらの11のルッドラはナマカムとチャマカムの一部です。それぞれに11章あります。それらすべての中にある主なメッセージは、一つであることに目を向けよ、ということです。植物であろうが、木であろうが、森であろうが、同一のルッドラが宿っているのです。石ころであっても、小丘であっても、山であっても、同一のルッドラが宿っているのです。湖であろうと、河であろうと、海であろうと、波であろうと、泡であろうと、同一のルッドラが宿っているのです。聖者であろうと、泥棒であろうと、猟師であろうと、労働者であろうと、大工であろうと、宝石商であろうと、いかなる種類の専門家であろうと、同一のルッドラが宿っているのです。それが、神が私たちに語っていることです。共通点に目を向けなさいと。サルヴァム カルヴィダム ブランマー (まことにこの世のすべてはブラフマンなり)」一つであることを知るために、私たちはルッドラムを唱えます。私たちは内なる意義を知るべきです。そうすれば、私たちは本当に体験し、恩恵を得ます。

ですから、神を思い起こし、神の物語を思い出し、神の栄光を歌うことによって、この素晴らしい祝祭の日を過ごし、私たちの人生を聖なるものとしましょう。今日、私たち全員の上に最高の祝福と恩寵を注いでくださるよう私たちのサイ・シヴァ神に祈ります。私たちが至高のゴールへ向かって前進することができるように。そのゴールとは、私たちの本質を悟ることです。私たちの本質とは何でしょうか？それは、私たちは神聖アートマの化身であるということです。